

# 鬼怒川・小貝川ブロック公述書

開催場所：栃木県教育会館 小ホール

開催日時：平成19年2月26日

以下の部分について公表します

届出者の住所

栃木 都・県 宇都宮 市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人1  
鬼怒小貝-2

意見の概要

鬼怒川は栃木県の中央部を北西から南東へ流れる。中部では広い河川敷を利用した公園も多く、釣りや川との触れ合いを楽しむ多くの人が四季を問わず利用している。鬼怒川の豊かな生態系が今以上に損なわれないよう願い、流域住民としての意見を述べたい。

支流の湯西川に湯西川ダムが計画されているが、上流部にはすでに五十里ダム、川俣ダム、川治ダムという三つのダムがある。73年の利根川水系工事実施基本計画によるとこの三ダムで鬼怒川の治水は完結することになっており、湯西川ダムが本当に必要なのか、はなはだ疑問である。次に、一般にダムなどの大規模建設事業は自然環境に重大な影響を及ぼし、生態系を構成する動植物を消滅させる恐れがあると言われるが、湯西川ダムの建設予定地周辺地域には、猛禽類やゴウモリ類など絶滅危惧種が数多く生息していることが判明しており、湯西川ダムの建設による自然環境への影響は甚大となろう。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。

以下の部分について公表します

届出者の住所

栃木 都・県 宇都宮 市・区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人2  
鬼怒小貝-5

意見の概要

鬼怒川には、昭和30年代まで、宇都宮はもちろん、今市地区あたりまで、多くの鮎が海から遡上していました。しかし残念ながら、多くの堰が出来たため、現在では天然の鮎の姿はほとんど見られません。それでもここ数年の間に、国土交通省様の御尽力もあり、茨城県のかの堰の魚道が改修されたため、真岡市の勝瓜堰の下まで、かなりの数の鮎が遡上している事が確認されています。これらの鮎に関する情報、そして勝瓜堰の実状などを、ぜひ公述で発言させて頂きたいと思っております。

※ 楷書横書きで400字以内にまとめて下さい。



届出者の住所

栃木 都・県 真岡 市 区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人3  
鬼怒小貝-6

1. 建設の目的や環境上の問題等々から判断して、湯西川ダムの建設には大きな疑義がある。建設は中止すべきである。
2. 氏家地区の鬼怒川で進められている河道再生事業は、地域の環境保全団体を加えて、河川本来の動植物相と生態系を取り戻すための試みとして評価できる。今後は下流域でもデータの検討と論議を積み重ねつつ、特色ある環境再生が実施されるよう要望する。
3. 河川水辺の国勢調査によって、鬼怒川・小貝川は、内陸では数少ない水辺環境として、さまざまな動植物の生存にきわめて重要な場所であることが明らかになった。今後は、河川管理や整備の現場で、その成果を速やかに反映・活用できるシステムを構築し、また流域住民への啓発を活発に行い、河川の優れた自然環境と生態系の保全に努めるべきである。

届出者の住所

栃木 都・県 さくら 市 区・町・村

年代 (○で囲んで下さい)

10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60歳以上

性別 (○で囲んで下さい)

男性・女性

公述人4  
鬼怒小貝-7

意見の概要

栃木県さくら市地区鬼怒川河川敷に生息するシルビヤシジミ保全について。